

# コスモ石油株式会社 経営方針

---

2004年11月17日  
代表取締役社長  
木村 彌一

- 1 , 最近の経営環境変化
- 2 , 経営の基本方針
- 3 , 中期計画 ~ 課題と進捗
- 4 , 2004年度通期の経営目標

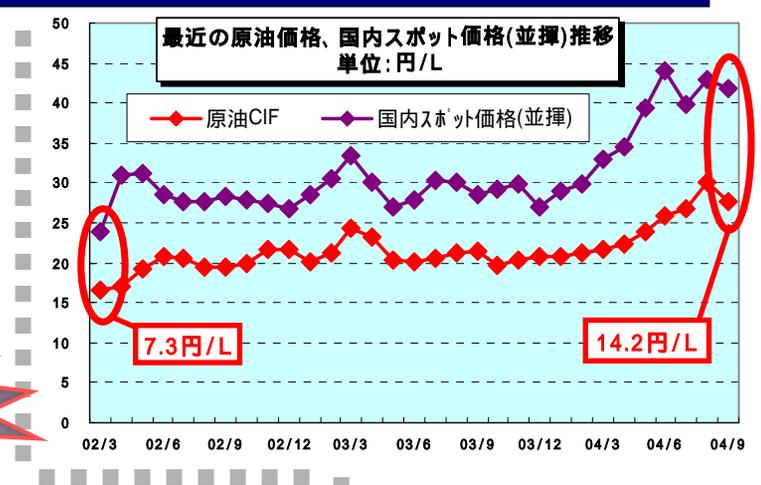
# 最近の経営環境変化

**中国**

GDP9%伸び  
08年北京五輪/10年上海万博  
石油需要の増大  
-石炭から石油へのシフト  
-モータリゼーションの進展  
国内生産頭打ち - 輸入増大

**石化製品**  
高需要, 高価格

**海外製品高騰**  
(輸出良好, 輸入品高)



**産油国**

**原油高騰**

**Refiner**

**国内製品高**

**Dealer**  
Whole Sailer

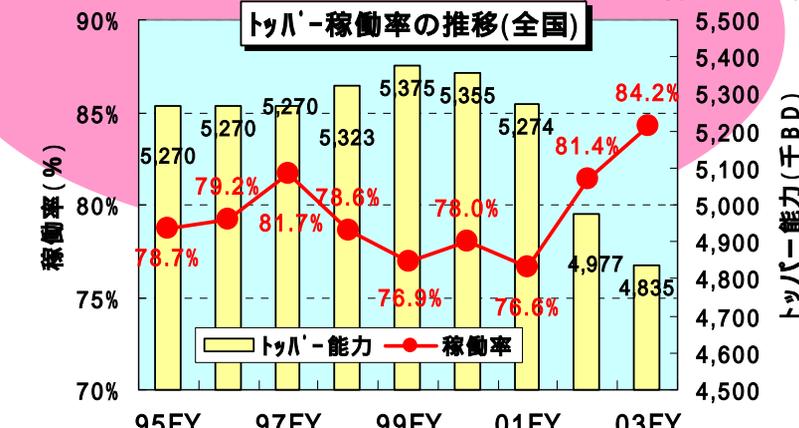
**SS**

世界石油需給タイト化  
-需要増  
(04FY前年比+250万BD)  
-うち約30%は中国  
-生産余力はサジのみ  
(重質油主体)  
米国  
-低在庫政策  
-ガソリン環境規制強化/  
輸入困難  
地政学的リスク  
-イラク政情不安  
-その他紛争・不安  
投機資金には好機

**精製**

製油所能力削減の進展  
00年度末比約 470千BD  
-7社11製油所にて

石化・輸出優先  
-石化設備増強  
-ガソリン基材の石化シフト  
-カマフライ化による稼働減



**流通**

元売の系列強化策の実施  
集約化  
非系列玉の減少

**系列回帰**

安定した収益

- ・マクロ環境の変化に対応した利益の確保により安定したCFを創出

- ・中計施策の確実な実行
- ・営業キャッシュフローの確保

社会と共に持続的に発展し収益を生んでいく

社会的責任

- ・社会の一員として、環境問題をはじめとした社会的責任を全う。
- ・法令遵守、適時情報開示  
透明性の高い企業統治の推進

〈中期計画の主要課題〉

〈04年上期までの進捗状況(累計)〉

過剰設備問題への対応

四日市、坂出製油所  
トッパ-能力削減の決定  
(実施時期は弾力的に対応)

流通構造革新の推進

販社SS自燃油販売量拡大による、販路構成改善

特約店へ  
ノウハウを水平展開

合理化・価値創造の推進

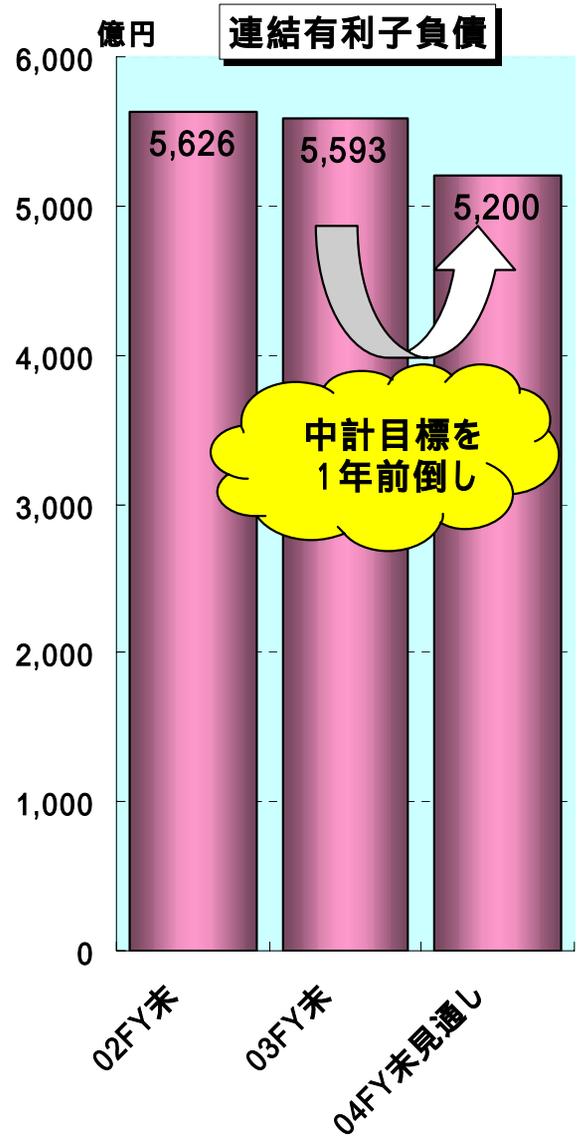
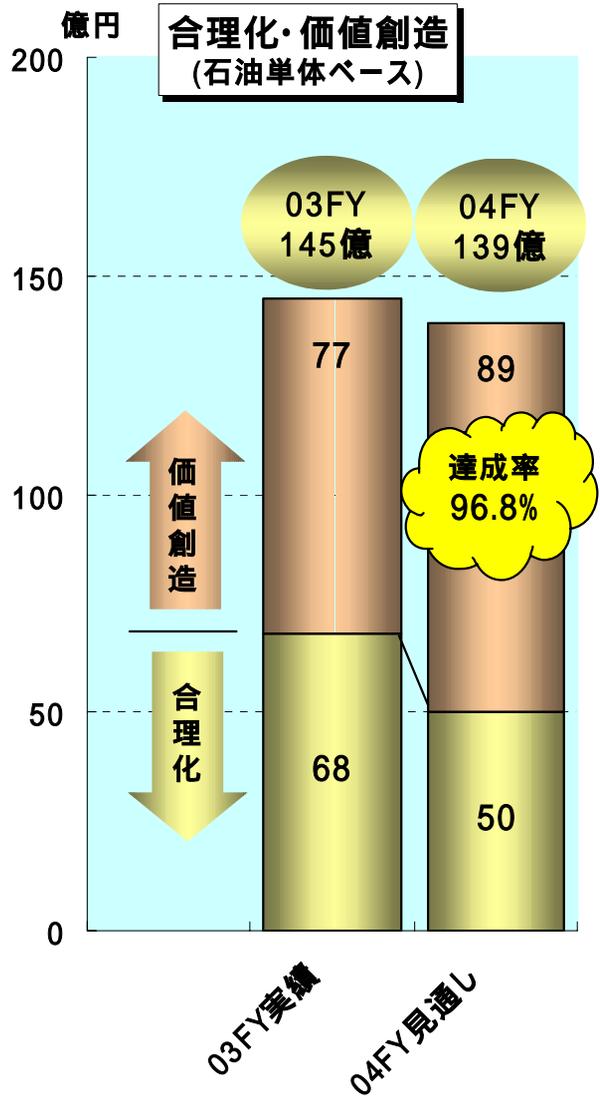
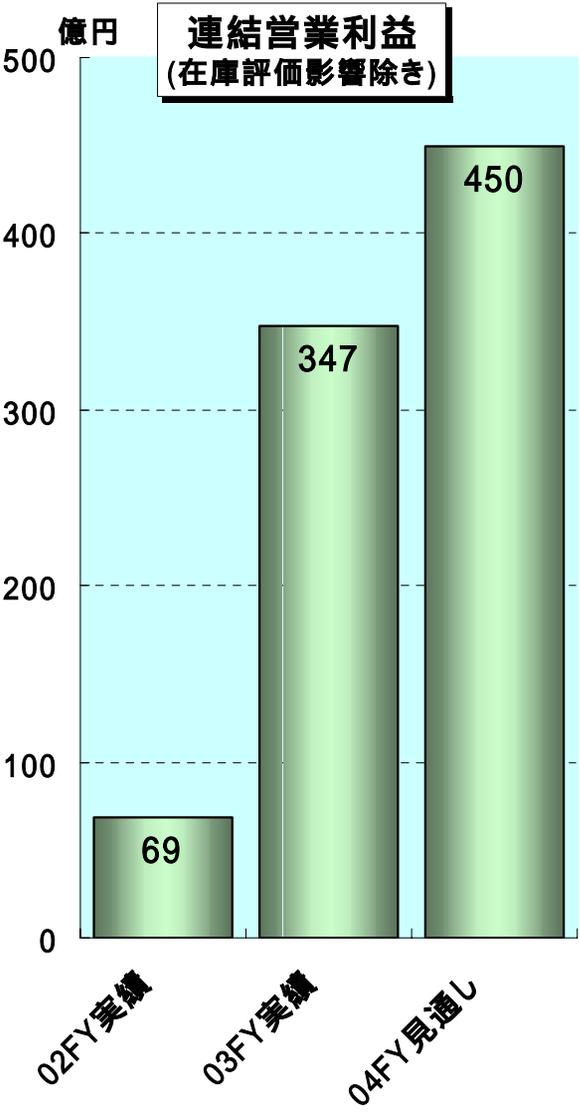
累計199億円実施  
(計画達成率99%)

有利子負債の削減

累計227億円削減  
(04/9末 = 5,399億)

CSR経営

リスクマネジメント体制、  
社会的責任経営体制の整備 等



## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。